

# 環境学習情報センターニュース

## 「Mie子どもエコフェア」大盛況でした

7月20日・21日の両日、Mie子どもエコフェアを開催しました。梅雨明けして暑さが厳しいなか、10時の開会にはたくさんの方が来場されました。「貝殻でキラキラフォトスタンドづくり」、「建築端材でミニベンチをつくろう」のコーナーには開催時間前から行列ができる盛況ぶりで、参加者総数も昨年を上回る2600人でした。「チャレンジ! 昔の火おこし体験」「自転車発電」など、体験することで環境を考えるもの、「下水道のおもしろ歴史教室とミクロの世界」のように学習型のものなど、いろいろな角度から環境を考える機会になったと思います。今年度はリユースの観点からフリーマーケットも開催しました。また、地産地消でフードマイレージを減らす食のエコもテーマとしました。パーク&ライドの実践としてシャトルバスも運行して計450人の方が利用され、環境活動を楽しく体験できた二日間でした。



## 今月の企画展示 6月～8月の展示



### 6月 鈴鹿市環境部 環境政策課

鈴鹿市では、平成16年度から18年度の3年間、市内の動植物・昆虫などを調査し、その調査結果を「鈴鹿市の自然—鈴鹿市自然環境調査報告書—」として発刊しました。専門の調査員約70名を中心に、多数の市民の方々とともに、なんと市内から約7700種類の動植物が確認されました。その中から「鈴鹿市の昆虫」として、鼓ヶ浦海岸で採取された甲虫類の標本と市内で確認された珍しい昆虫の写真などを展示していただきました。子どもたちにとっては、夏休みの自由研究のヒントにつながったのではないのでしょうか?大人・子どもを問わず興味深い展示になりました。



### 7月 松名瀬干潟ウォッチング

松名瀬干潟は、三重県松阪市の櫛田川河口に広がる広大な干潟です。三重県でも最大級の干潟で、たくさんの植物や動物が生息しています。櫛田川から流下する多量の砂が、堆積し干潟を作っています。干潟は水質浄化能力が高く1ha(ヘクタール)で1万人の排水をきれいにするとされる天然の浄化装置なのです。「絶滅危惧種」とされる「ハマボウ」と言う植物や干潟に生息する動物たちをチラシやパネルで紹介したり松名瀬干潟ウォッチングの活動を紹介しました。



### 8月 第4管区海上保安本部

夏の暑い日には海水浴に行く人も多いと思います。そんなきれいな海をいつも守ってくださるのが「海上保安庁」ですが、第4管区海上保安本部は伊勢湾周辺が担当です。海がよごれると困ったことがたくさん起こります。ゴミを海鳥や魚が食べてしまったり船のスクリューにロープが絡まって海で働くひとの邪魔になります。また、私たちが出す生活排水も、海を汚す大きな原因のひとつです。みんなが気持ちよく遊んだり、働いたりできるような「きれいな青い海」を残すためにはどうしていったらいいのか?を考えるきっかけとなる展示になりました。

## 環境学習情報センターへようこそ&訪問しました

### 環境学習情報センターに来館してくれた小学校・中学校(6月～8月)

四日市市立大池中学校、四日市市立富洲原小学校、四日市市立中央小学校、四日市市立八郷西小学校、四日市市立港中学校、鈴鹿市立愛宕小学校、鈴鹿市立庄野小学校、鈴鹿市立河曲小学校、鈴鹿市立椿小学校

### 環境学習情報センターが訪問した小学校・中学校(6月～8月)

津市立八ッ山小学校、いなべ市立十社小学校、いなべ市立山郷小学校、鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校、尾鷲市立賀田小学校、伊勢市立進修小学校、四日市市立富洲原小学校、津市立高宮小学校、熊野市立飛鳥小学校、熊野市立日進小学校、いなべ市立東藤原小学校、四日市市立山手中学校、津市立桃園小学校、熊野市立小阪小学校、熊野市立五郷小学校

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習体験教室の受入を行っています。